

【超楽】マニュアル

《事前準備》

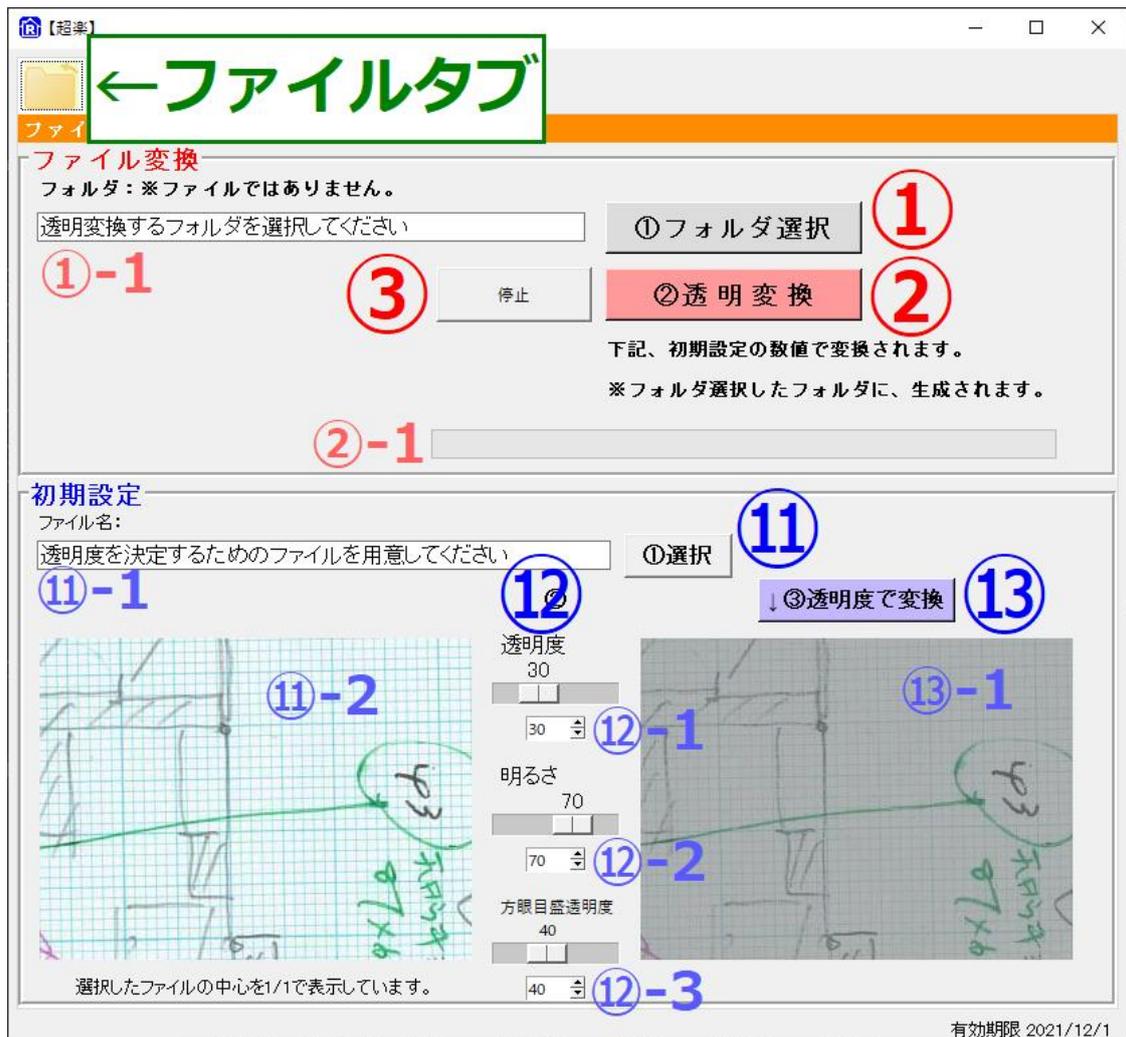
【超楽】を立ち上げる前に、事前準備が必要です。

- コピー機を使って、野帳をスキャンします。
- JWCADの初期では、jpg データは対応していません。以下を参考に、「Susie のだうんろーど」で、プラグインをダウンロードしてください。



<http://llc.kd-house.com/jwcad/jwcad-jpg-windows10-01/>

次ページから、【超楽】のマニュアルになります。



使う手順です。

初期設定（自分の好みの設定が決まれば、あとは、設定不要です。）

⑪選択 → ⑫調整 → ⑬変換

ファイル変換（毎回必要です。）

①選択 → ②変換

- ① スキャンした画像のフォルダを選択します。
ファイルを選ぶのではなく、フォルダです。
一括変換するためです。
- ①-1 選択されたフォルダ名が表示されます。
- ② 選択したフォルダの直下に、変換されたデータができあがります。
- ②-1 変換されている途中経過がバーとして表示されます。
- ③ 途中で停止する場合に使います。

- ⑪ 透過数値を決めるための参考データを選びます。（データ、任意で大丈夫です。）
- ⑪-1 選択されたファイル名が表示されます。
- ⑪-2 選択されたファイル画像が表示されます。（**※画像の中心が1/1で表示されます。**）
- ⑫ ここで、画像変換の数値を設定します。
- ⑫-1 透明度を調整します。（スライダー、スピンボックス共に連動されているので、どちらでも変更可能です。）

⑫-2 明るさを調整します。（スライダー、スピンドック共に連動されているので、どちらでも変更可能です。）

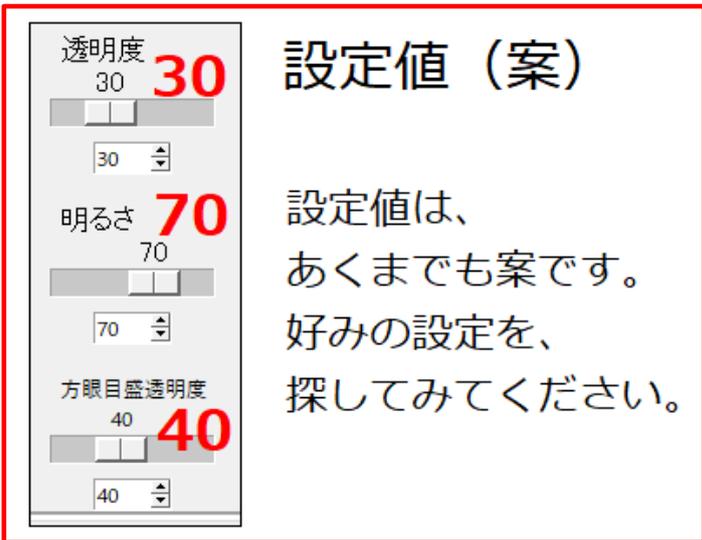
⑫-3 方眼紙目盛の透明度を調整します。

透明化の数値を上げて行くと、他の色も少し影響を受けます。

ただ、線が消えるということはありません。

⑬ 調整された数値を元に、画像が変換されます。

⑬-1 変換された画像が表示されます。



透明度 30 **30**

明るさ **70** 70

方眼目盛透明度 40 **40**

設定値 (案)

設定値は、あくまでも案です。好みの設定を、探してみてください。



01初期設定

動画で説明

[クリック](#)



02ファイル変換

動画で説明

[クリック](#)

【超楽】 ← JWWタブ

JWW

ファイル名:

貼り付ける画像を選択してください ①-1 ①選択 ①

JWWの仕様により縮小されて貼り付くので拡大値で補正して貼付けます。

② ②拡大値 数値を保存 ※③-1

| | |
|-------|--------------|
| A3拡大値 | 420.0(297.0) |
| A4 | 210.0(297.0) |
| B4 | 364.0(257.0) |
| A2 | 594.0(420.0) |

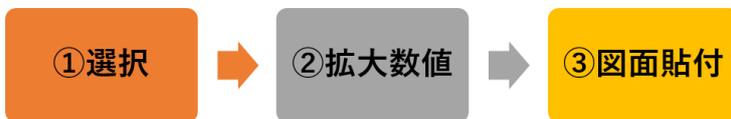
③図面に貼り付ける ③

【補足説明】 ④

- ・画像が傾いていたら、JWWの測定で角度出して移動調整をしてください。(クリックで説明サイトへ)
- ・1ファイルごとになりますが、たとえばAグループから順に平面、配置、立面と一気に貼付けておく方法もあります。
- ・図面完成後、X方向のみ柱間910とか、ブロック塀500を400に変更することができます。JWの移動の倍率「910/1.1」とか、「400/500.1」で実現できます。その場合、写真の円も変形するので、あらかじめ楕円にしておいて、補正後円になるようにしてください。

有効期限 2021/12/1

使う手順です。



- ① 図面に貼り付けたいファイルを選択します。
- ①-1 選択されたファイル名が表示されます。
- ② 普通に貼付けるとJWの仕様で、小さく表示されま
す。ここで拡大数値を使って、1/100に調整します。
(A3野帳の場合は、420.000が設定値です。)
- ③ ボタンを押すと、図面に貼り付きます。
- ③-1 貼り付ける図面を、立上げていてください。

《立上げているJWが一枚のみのとき》

自動で認識して貼り付きます。

《立上げているJWが二枚以上のとき》

メッセージボックスが出ます→OKを押す

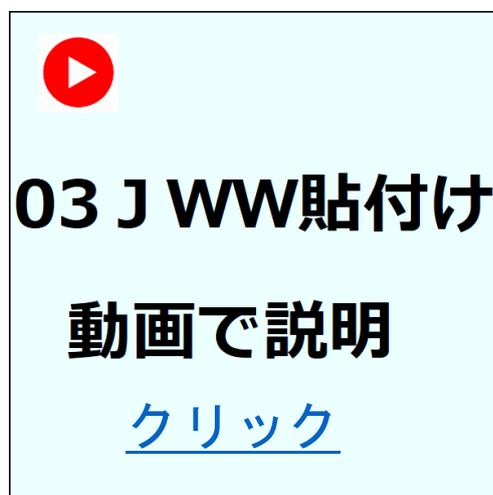


画面下のバーから、貼り付けたい図面を左クリックで選んでくださ
い。

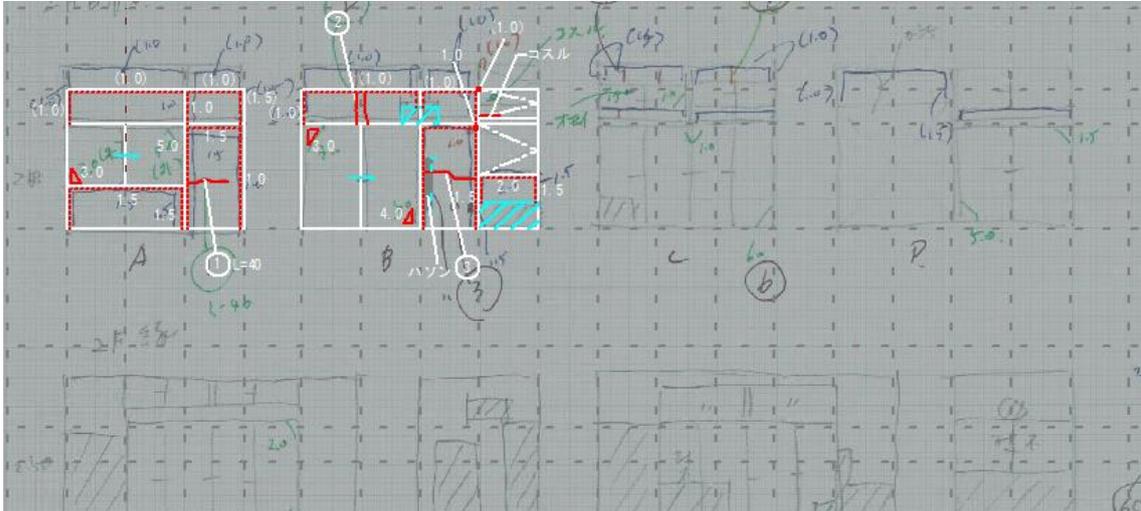


④ 補足説明です。

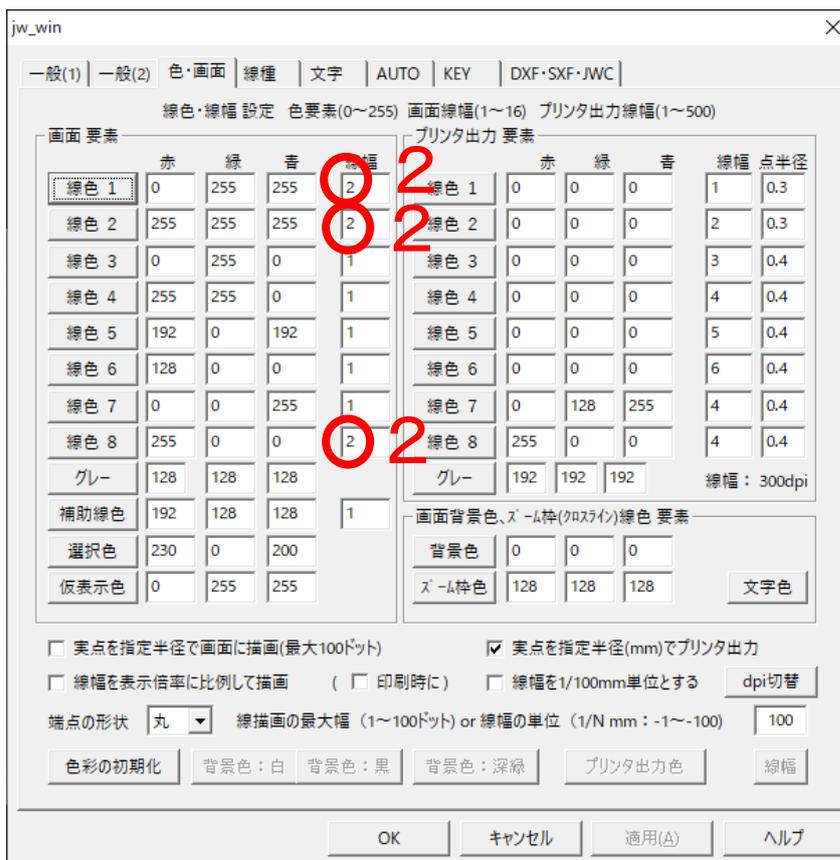
- ・ 貼り付いた画像が傾いていたら？
- ・ 1 ファイルごとになりますが、一気に貼付けておく方法
- ・ X方向のみ 910 に調整する方法、ブロック塀をX方向のみ 500 から 400 に変換する方法



《【超楽】で描きやすくなるJW設定（案）》

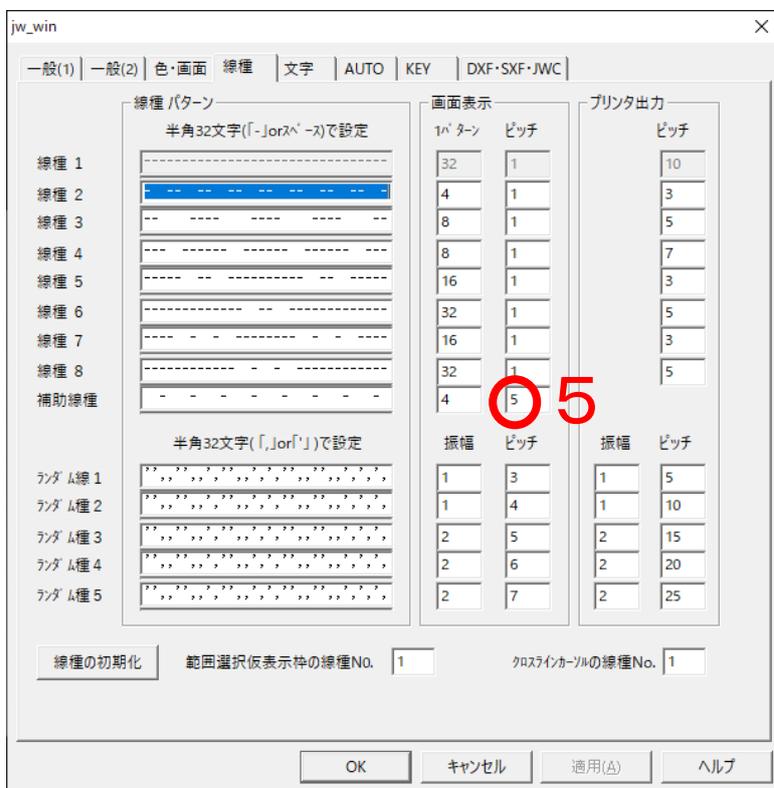


【設定⇒基本設定⇒色・画面】



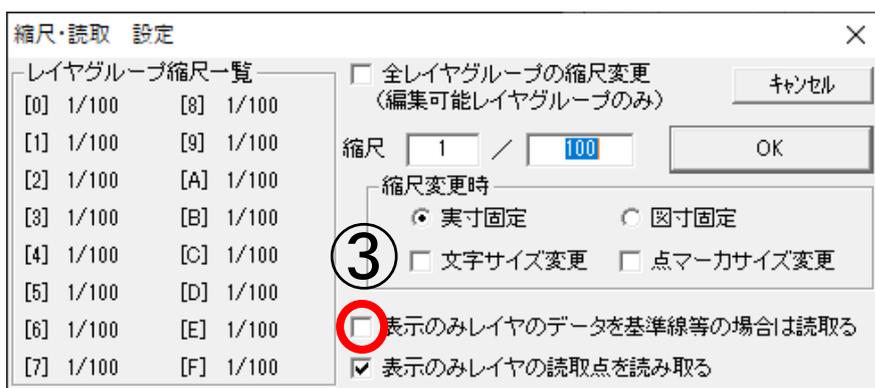
①
線幅は、2にした方が
良い。
補助線も2にした方が
良い。

【設定⇒基本設定⇒線種】



②
補助線のピッチ
は、5にする。

【設定⇒縮尺・読取】

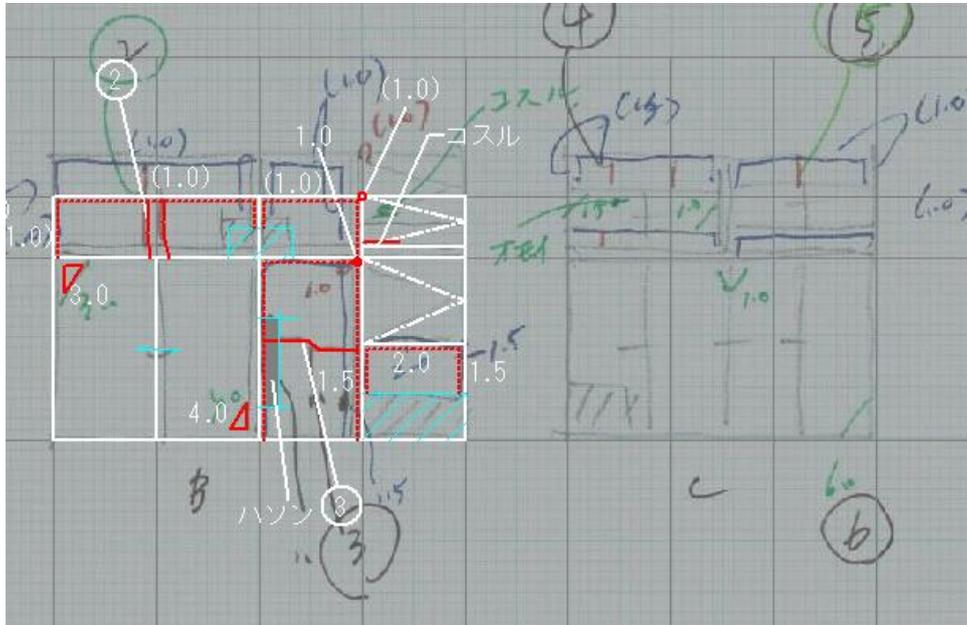


③表示のみレイヤのデータ・・・ (☑外す)

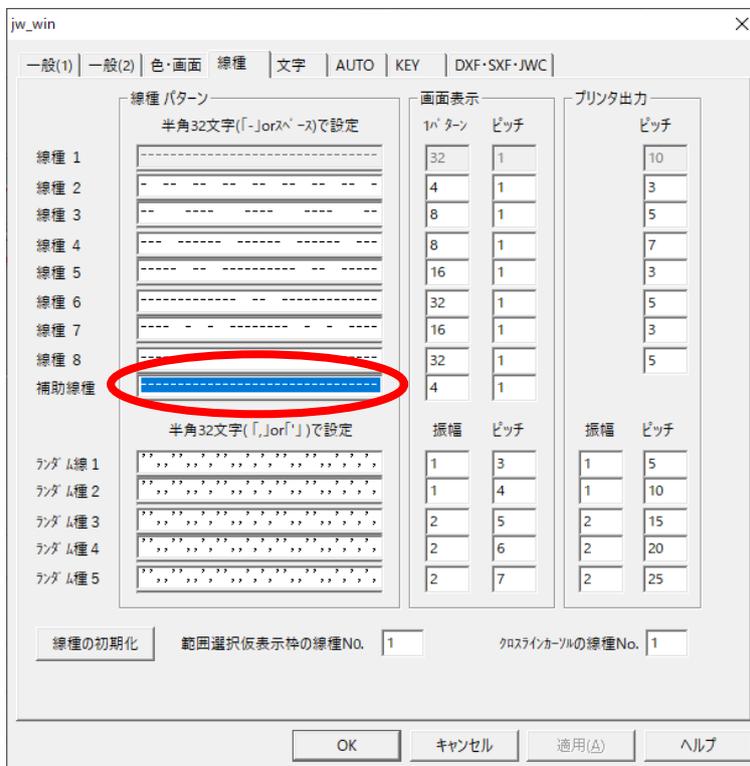
④補助線が入っているレイヤを「表示のみレイヤ」

これで、補助線は、複線とかで拾えなくなります。

《補助線を直線に替えた案》



下記以外は、前ページまでと同じ設定です。



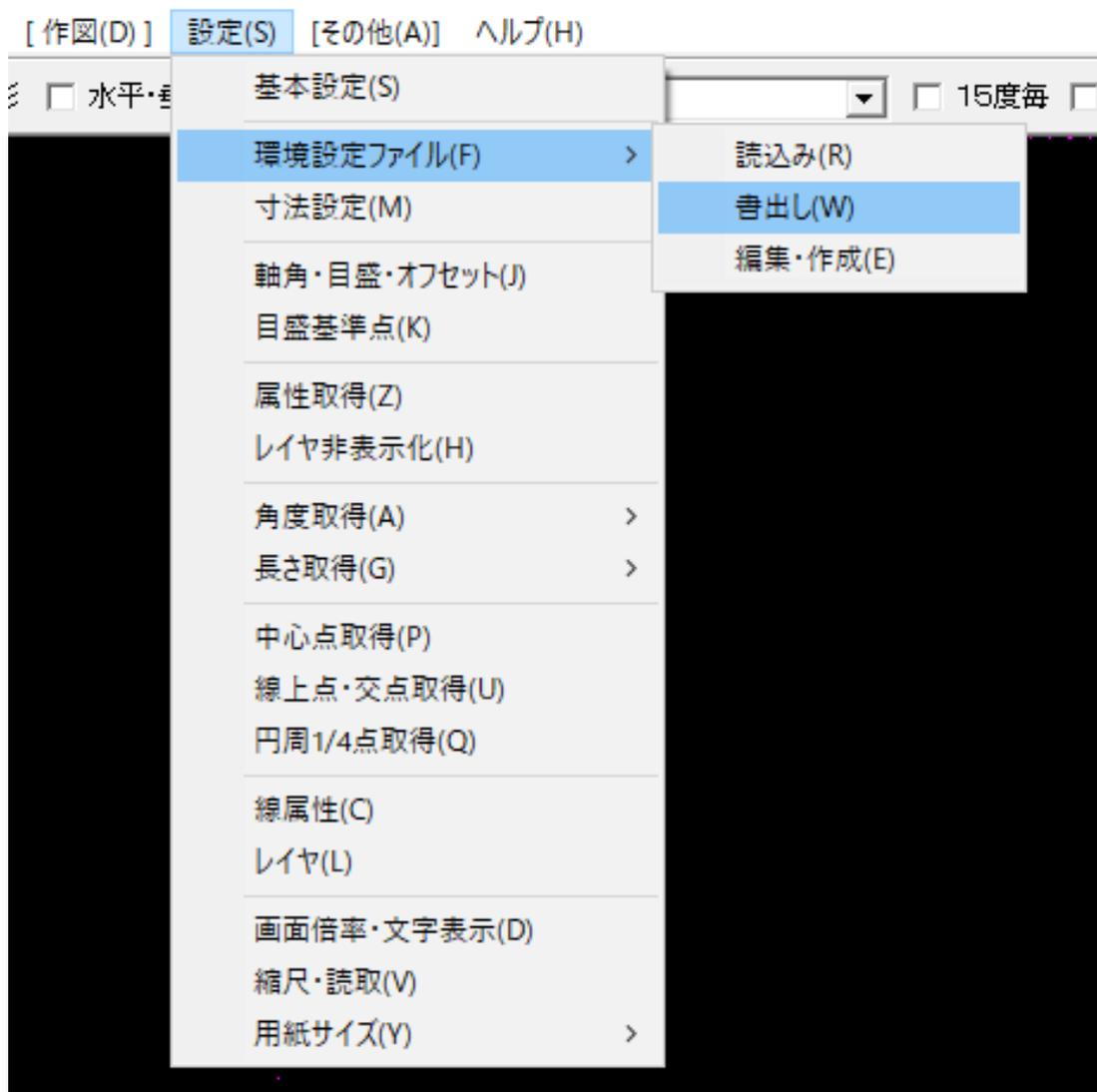
赤丸を、線種 1 と同じように、手入力で、-----にする。

P. 7①の線幅は、1にするか、2にするかは、好みで。

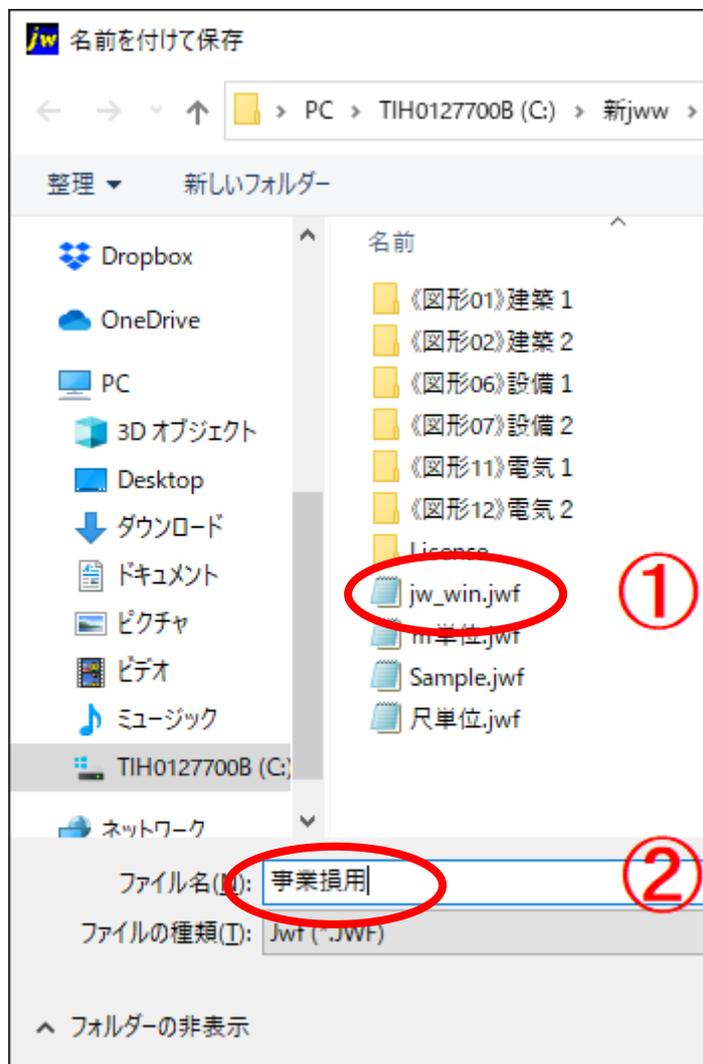
《JW設定案を登録する》

変更したJW設定を、次回以降に利用するには登録しておく必要があります。

【設定⇒環境設定ファイル⇒書出し】



保存のダイアログが開きますので、保存してください。



①を上書き保存すると、次回からも同じ設定で開きます。

②で、名前を付けて保存すると、

【設定⇒環境設定ファイル⇒読み込み】で、呼び出します。